

小説Dead Poets Societyを用いた教室現場での多様な実践の試み

森永弘司・竹村理世(同志社大学) 北島美咲(同志社女子大学) 後藤せいこ(元東京YWCA)

日本英語教育学会第43回年次研究集会

早稲田大学 2013/3/16

発表概要

1. はじめに
2. 映画*Dead Poets Society*について
3. 小説*Dead Poets Society*について
4. クラス目標
5. 授業計画
6. 成績評価
7. 具体的な指導実践例
8. レポート課題
9. 今後の課題
10. 参考文献

1. はじめに

1. 小説の人気度

Needs Analysis質問紙での読みたいと思うリーディング教材の調査.

R大学理系学部459名

雑誌の記事(57%), 小説(55%)

D大学文系学部235名

雑誌の記事(75%), 小説(67%)

D女子大学文系理系学部205名

小説(81%), 雑誌の記事(80%)

2. 文学作品の教養を深めるうえでの貢献度

薬袋・森永(2009)『名文で養う英語精読力』と斎藤・中村(2009)『文学で学ぶ英語リーディング』を使用したクラスでの調査.

1. 「文学作品が教養を高める上で効果のある教材かどうか」
2. 「文学作品を大学で教える意義があるかどうか」

1の質問に対して受講生87名中20名が「強くそう思う」と答え、58名が「そう思う」と回答した。

9割近い学生が文学作品を教養を高める上で効果の教材であると考えている。

2の質問に対しては19名が「強くそう思う」と答え、52名が「そう思う」と回答した。

8割弱の大学の英語の授業で文学作品を教えることが意義のあることだと認めていることが判明した。

3. 文学作品の英語力向上の効果

Vocabulary Levels Test, Standard Grammar Test of the 7th version, C-testの3種類のテストを使用して受講生の語彙力、文法力、全般的な英語力の増減を調査した。

上記3種類のテストを1週目と14または15週目の授業で参加者80名に対し実施した。

1. Vocabulary Levels Test

平均で409語の語彙数の増加がみられた。

2. Standard Grammar Test of the 7th version

60点満点のテストで平均1点の伸びがみられた。

3. C-test

100点満点のテストで平均6点の伸びがみられた。

2. 映画*Dead Poets Society*について

学生の映画に対する反応

2010～2012年の3年間、3つの大学で映画*Dead Poets Society*を視聴させて、10点満点のレーティングをおこなわせた。

1. 2010年度の映画に対する評価

R大学の2クラス受講生43名の平均点8.8点

D大学の2クラス受講生48名の平均点8.6点

D女子大学の受講生35名のクラス平均8.1点

2. 2011年度の映画に対する評価

R大学の受講生16名の平均点8.8点

D大学の2クラス受講生88名の平均点8.6点

D女子大学の3クラス受講生135名の平均8.1点

3. 2012年度の映画に対する評価

D大学の受講生32名の平均点8.3点

D女子大学の受講生41名の平均8.3点

毎年受講生は入れ替わるにもかかわらず、3つの大学で平均して8点台の前半から後半の高評点を維持しているのは、この映画が学生にアピールする点が多いことの証左だと考えらる。発表者自身この映画をととても気に入った(最後のクライマックスのシーンでは、恥ずかしながら、2回の視聴で1回の落涙)ので、この映画の教材化を数社のテキスト出版社に持ち込んだが、配給元がディズニーということで断念する。それでこの映画のノベライズをリーディング教材として使用することになった。

3. 小説*Dead Poets Society*について

この小説が学生のリーディング教材として適している点.

1. 学園生活が背景となっているので、学生たちが感情移入しやすい点.
2. Keatingという独自の教育観をもつカリスマの教師が登場する点.
3. 彼が学生に自分独自の思考法を持つよう鼓舞するために発するユニークな言葉が多く含まれている点.

4. Keatingが国語の教師で好んで多くの英詩を引用するので、英詩入門の役割も果たしうる点.
5. またこの小説はクリティカル・シンキングの土台となる複眼的思考を身に付ける上でも裨益するところ大である.
6. さらに課題レポートを英語で書かせ、それを英語でプレゼンさせることでライティング力やスピーキング力の向上にも資する.

4. クラス目標

1. テキストを速読及び精読することで読解力の伸長を目指す。
さらに「行間を読む」推測力の養成を目指す。
2. 小説中に多く引用される詩のいくつかを取り上げ、英詩の特徴を解説することで、英詩鑑賞の基礎力を養うことも目標とする。
3. 課題レポートを英文で書くことで、英作力を強化すると共に
課題レポートをパワーポイントを用いて発表することで、プレゼンに必要とされるアイコンタクト等のphysical message, 効果的なグラフの使用等のvisual message, プレゼンの組立に関するstory message等の基本的なスキルを身に付けることを目標とする。

5. 授業計画

1週目: イントロダクション(授業計画、授業方法
評価方法等の説明、学生からの質問の
回答).

2週目～3週目、5週目～10週目: 各週で
Chapter を2つ読み進める.

4週目: 英詩入門

11週目～12週目: DVD視聴

13週目～15週目: プレゼンテーション

6. 成績評価

1. 出席点(10%)
2. 指名された箇所 of 全文和訳及びそのサマリー(20%) 指名しておいた学生には担当部分のページの要約と重要だと思われる箇所及び読解に苦勞した箇所を口頭で発表させる。(担当箇所の全訳は印刷したものを授業開始前に提出させる)
3. 課題レポート(20%)
4. プレゼンテーション(20%)
5. 定期テスト(30%)

7. 具体的な指導実践例

1. 2回目の指導実践例
配布資料を参照

2. 4回目の指導実践例
配布資料を参照

3. 13回目の指導実践例
配布資料を参照

8. レポート課題

参考のためレポート執筆要項及び課題内容を以下に掲載する。
執筆要項

1. 全て英語で執筆すること。
2. 手書きではなく、必ずWordで書くこと。
3. 用紙はA4を使用し、シングルスペースで打つこと。
4. A4で最低2枚以上かくこと。
5. 表紙は付ける必要はないが、用紙に学部と名前を書くこと。
6. 授業時に担当者に直接提出すること。提出期限は定期テスト実施日とする。

受講生の英語力から考えて英語での執筆が困難だと思われる場合は、日本語での執筆を認めてもよい。その際は4をA4で3枚以上と変更することが望ましい。

課題 1

Read the following quote by Professor Keating from the movie *Dead Poets Society*. What do you think it means? Explain.

“We don’t read and write poetry because it’s cute. We read and write poetry because we are members of the human race. And the human race is filled with passion. And medicine, law, business, engineering, these are noble pursuits and necessary to sustain life. But poetry, beauty, romance, love, these are what we stay alive for.”

課題2

Read the following quote by Professor Keating from the movie *Dead Poets Society*. What do you think it means? Explain.

“I stand upon my desk to remind myself that we must constantly look at things a different way. The world looks very different up here . . . Just when you think you know something you have to look at it in another way . . . When you read, don't just consider what the author thinks, you must consider what you think.”

課題3

In relation to Neil's suicide, write a letter to one of the followings.

- a. the headmaster of the school
- b. Professor Keating
- c. the parents of the pupils

課題4

Choose your favorite word in the movie and explain why you think it is very impressive or memorable.

課題5

Rate the movie on a scale of 1 to 10 and write a brief comment.

9. 今後の課題

以下の点に関しては改善すべきである。

1. 各週で2つのChapterを読み進めると、深い内容の把握に無理が生じる場合があるので省略すべき箇所の特定。
2. 詩を理解させるための更なる工夫。
3. 英語能力を測定するテキストの実施による英語力の増減についての検証。

10. 参考文献

テキスト: N. K. Kleinbaum (1989) *Dead Poets Society* Hyperion

翻訳: 白石朗訳『いまを生きる』(1990) 新潮社

上記の邦題で新潮文庫から翻訳が刊行されていたが、現在は絶版になっている。

DVD: 『いまを生きる』(2006) ブエナビスタ・ホームエンターテイメント

小林章夫(2007)『イギリスの詩を読んでみよう』NHK出版

本書は英詩入門の講義に関しては非常に役立つ。

松浦暢他編著『英詩で味わう映画 *The Poetry of Film*』金星堂

松浦暢 (2003)『英詩と映画—その愛と生と死』アーツアンドクラフツ

松浦暢 (2004)『映画で英詩入門 愛と悲しみ、そして勇気』平凡社

森永弘司 (2009)「映画を通して英詩を教える授業の試み—三年間の授業実践を振り返って—」日英言語文化学会第5回年次大会

森永弘司 (2010)「教養課程の英語クラスでの映画を使用した英詩指導の試み」『日英言語文化研究』第3号

森永弘司(2010)「よりよい大学英語教育カリキュラムを作成するための質問紙を利用したニーズ・アナリシス調査」『同志社大学 教育開発センター一年報』第1号

森永弘司 (2011)「映画を利用した考えさせるための授業実践」日英言語文化学会第7回年次大会

森永弘司 (2012)「英語リーディング教材を利用した教養力を高める試み」日本国際教養学会第1回全国大会

森永、池上、松村 (2012)「Need Analysisの観点からみた同志社女子大学共通教育における英語教育の特徴と教育的示唆」“Asphodel” 第47号 同志社女子大学英語英文学会

David Harrington & Charles LeBeau (2010) *Speaking of Speech New Edition*, MACMILLAN

Morinaga Koji (2011) "An Attempt to Heighten Students' Critical Thinking through the English Movie, Dead Poets Society" 2nd Liberlit Conference

Morinaga Koji (2012) "Attempt to Teach Literary Texts Utilizing Minai's Parsing Method" 3rd Liberlit Conference

Morinaga Koji (2013) "Consideration of the Literary Texts from the Three Viewpoints: Heightening Students' Motivations to Read, Enhancing their Cultures and Improving their English Proficiencies" 4th Liberlit Conference

ご清聴いただき有難うございます.